

園芸学会 奨励賞 歴代受賞者

年度	受賞者	テーマ
昭和31年	洪川潤一(青森りんご試)	果樹草生栽培に関する研究
	位田藤久太郎(三重大農学部)	そ菜の根の生理に関する研究
	小杉 清(香川大農学部)	切花の促成に関する研究
昭和32年	緒方邦安(大阪府大農学部)	タマネギ貯蔵に関する生理学的研究
昭和33年	岡田正順(東京教育大農学部)	キクの開花に関する研究
昭和34年	林 真二(鳥取大農学部)	ナシ果実の発育に関する研究
昭和35年	萩屋 薫(新潟大農学部)	チューリップの球根栽培に関する研究
	中村英司(滋賀農試)	チャイラヒヤン著「植物開花生理」の翻訳
昭和36年	樽谷隆之(香川大農学部)	カキ果実の貯蔵に関する研究
	香川 彰(岐阜大農学部)	葉根菜類の開花結実に関する研究
昭和37年	高橋敏秋(信州大農学部)	トマト果実の着色に関する研究
昭和38年	吉村不二男(高知大農学部)	カンキツの温度生態に関する研究
昭和39年	板倉(千葉)勉(園試)	果樹園の土壌管理に関する研究
	苫名 孝(山形大農学部)	リンゴ果実におけるジオナサンスポット発生の原因に関する組織学的ならびに生産学的研究
	有隅健一(山口大農学部)	バラの花色に関する研究
昭和40年	広保 正(サントリー株式会社山梨農場)	ブドウ樹の栄養生理学的研究
	細井寅三(京都大農学部)	ニホンナシの発育に関する栄養生理ならびに組織学的研究
	松本和夫(愛媛大農学部)	晩生カンキツのす上がり防止に関する研究
昭和41年		
昭和42年	坂本辰馬(愛媛果試)	温州ミカン園における土壌管理法の研究
	高橋和彦(東京大農学部)	温床床土に関する研究
昭和43年	平野 暁(千葉暖地園試)	モモのいや地に関する研究
	岩政正男(園試興津支場)	カンキツの不ねん性、特に無種子果の研究
昭和44年	岩田正利(東京大農学部)	そ菜の窒素栄養に関する研究
	小西国義(香川大農学部)	ダリアの促成および抑制栽培に関する研究
昭和45年	山崎利彦(秋田果試)	リンゴの施肥改善に関する研究
	北川博敏(香川大農学部)	カキの脱渋および貯蔵に関する研究
	田中豊秀(京都大農学部)	キクの開花調節に関する研究
昭和46年	町田 裕(園試安芸津支場)	ナシの肉質に関する研究
	渡部俊三(山形大農学部)	リンゴ果実のサビ発生機構に関する組織学的研究
昭和47年	鈴木鉄男(静岡大農学部)	温州ミカンの水分管理に関する研究
	崎山亮三(東京大農学部)	トマト果実の酸含量に関する研究
	伊東 正(千葉大園芸学部)	施設内の炭酸ガス環境とそ菜の生理機能
昭和48年	上村昭二(園試盛岡支場)	トマトの裂果に関する研究
	岩堀修一(鹿児島大農学部)	トマトの高温障害に関する研究
	小林森巳(岩手園試)	訪花昆虫の増殖・利用法に関する研究
昭和49年	白石真一(福岡園試)	カンキツ果実の着色に関する研究
	森 俊人(兵庫農試)	トマトのすじぐされ病に関する研究
	樋口春三(愛知農総試)	プリムラおよびペチュニアの自家不和合性の生理と制御に関する研究
	茶珍和雄(大阪府大農学部)	放射線照射による果実そ菜の貯蔵に関する生理学的研究
昭和50年	志村 勲(果樹試)	クリの育種に関する基礎的研究、特にクリタマバチ耐虫性について
	大久保増太郎(千葉農試)	トマト果実の鮮度保持とその生理学的研究
昭和51年	平田尚美(鳥取大農学部)	カキ果実の発育および成熟に関する生理学的研究
	上田 博(愛知県教育センター)	シンビジウムの生長点培養における器官形成
	梶浦一郎(果樹試)	収穫後の果実に及ぼす酸素ならびに炭酸ガス濃度の影響
昭和52年	杉浦 明(京都大農学部)	ブドウの生育および花房分化に及ぼす温度、日長、CCCの効果
昭和53年	松井鑄一郎(岐阜大農学部)	クリのクリタマバチ抵抗性に関する研究
	湯田英二(大阪府大農学部)	酸性土壌におけるウンシュウミカンの生育障害と肥培管理
	三浦泰昌(神奈川園試)	シクラメンの培養土と施肥に関する研究
昭和54年	門屋一臣(愛媛大農学部)	カンキツにおける根系と葉の機能的相関に関する研究
	横井政人(千葉大園芸学部)	主要花きにおける花色の解析的研究
	小机信行(賢明女子学院短大)	貯蔵ピーマン果実の低温障害に関する生理化学的研究
昭和55年	伊庭慶昭(果樹試興津支場)	ウンシュウミカンの品質管理に関する研究
	土岐和久(千葉農試)	施設栽培における夜温管理に関する研究

年度	受賞者	テーマ
昭和56年	大沢勝次(野菜試)	野菜育種における組織培養の利用に関する研究
	浅野義人(北海道大農学部)	ユリの遠縁間交雑に関する研究
	楠元 守(神奈川教育センター)	ラン科植物の器内培養に関する研究
昭和57年	石田雅士(京都府大農学部)	モモ果実の発育に関する生理学的研究
	元村佳恵(東北大農学部)	ブドウの無核果形成におけるジベレリンの作用に関する研究
	山木昭平(果樹試)	ニホンナシ果実の糖代謝及び肉質に関する生化学的研究
	吉川宏昭(野菜試)	アブラナ科野菜の根こぶ病抵抗性育種に関する研究
昭和58年	松尾英輔(鹿児島大農学部)	テッポウユリりん茎の生育反応に関する研究
	間苜谷 徹(農林水産技術会議事務局)	ウンシュウミカンの水管理の指標としての葉の水ポテンシャル
	藤目幸擴(香川大農学部)	ハナヤサイ類の花らい形成・発育の温度条件に関する研究
昭和59年	稲葉昭次(岡山大農学部)	果実の追熟特性に関する生理学的研究
	青葉幸二(果樹試)	果樹のマンガン過剰障害に関する研究
	水谷房雄(愛媛大農学部)	モモのいや地及び耐水性に関する研究
昭和60年	吉岡 宏(野菜試)	果菜類における光合成産物の動態に関する研究
	山下研介(宮崎大農学部)	カンキツの自家不和合性に関する研究
	田代洋丞(佐賀大農学部)	ワケギの起原に関する細胞遺伝学的研究
	藤田政良(和歌山農試)	ストックの開花生態に関する研究
昭和61年	兵藤 宏(静岡大農学部)	園芸作物におけるエチレンの生理に関する研究
	田辺賢二(鳥取大農学部)	二十世紀ナシのユズ肌発生と無機成分との関係
	衛藤威臣(鹿児島大農学部)	ニンニクの不稔に関する研究
昭和62年	松井弘之(大阪府大農学部)	ブドウ果実の成熟生理、特に糖蓄積に関する研究
	糠谷 明(静岡大農学部)	メロン及び数種そ菜の耐塩性に関する研究
	杉山信男(東京大農学部)	そ菜のかり施肥効果と土壤交換態カリ含量並びに葉中カリ濃度との関係
	吾妻浅男(高知園試)	宿根花卉の開花調節に関する研究
昭和63年	小野祐幸(農業研究センター)	ウンシュウミカンの光合成及び生産構造からみた収量 構成要因に関する研究
	門馬信二(野菜・茶業試)	イチゴ果実の品質とその遺伝に関する研究
	大久保 敬(九州大農学部)	チューリップ花茎の伸長に関する研究
	山内直樹(兵庫県立姫路短大)	果実・そ菜のアスコルビン酸に関する生理・化学的研究
平成元年	久保田尚浩(岡山大農学部)	温室ブドウの加温栽培における地温条件に関する研究
	坂田祐介(鹿児島大農学部)	ツバキ属植物の花色に関する研究
	阿部一博(大阪府大農学部)	ナス果実の低温障害に関する研究
平成2年	小林省蔵(果樹試安芸津支場)	カンキツ類の細胞工学的育種法に関する研究
	金浜耕基(山形大農学部)	キュウリの曲がり果発生機構に関する生理・形態学的研究
	田中道男(香川大農学部)	組織培養によるファレノプシスの栄養繁殖に関する研究
平成3年	山田昌彦(果樹試安芸津支場)	カキの交雑育種法に関する研究
	米森敬三(京都大農学部)	甘ガキ果実の自然脱渋とタンニン細胞の形態的・生理的特性との関係
	池田英男(筑波大農林学系)	そ菜の無機態窒素利用、特に施用窒素形態に関する研究
	柴田道夫(野菜・茶試久留米支場)	スプレーグクの育種に関する研究
平成4年	片岡郁雄(香川大農学部)	ブドウ果実の着色とアブシジン酸による着色制御に関する研究
	松尾友明(鹿児島大農学部)	カキタンニンの化学的特性と利用に関する研究
平成5年	井上弘明(日本大農獣医学部)	アボカドの開花・結実に関する生理・生態学的研究
	松本亮司(福岡農総試園芸研)	カンキツの苦味に関する育種的研究
	土井元章(大阪府大農学部)	シュコンカスミソウの開花に対する低温要求性に関する研究
平成6年	中村正博(宮城県立農短大)	クリの生殖器官の形態と受精に関する研究
	高橋春實(秋田県立農短大)	イチゴの黒斑病抵抗性品種の育成に関する研究
	青木宣明(島根大農学部)	ポタンの促成栽培技術に関する研究
平成7年	吉岡博人(果樹試)	リンゴ果実の成熟・老化に伴う品質変化に関する生化学的研究
	荒川 修(弘前大農学部)	リンゴ果皮の着色(アントシアニン生成)に関する研究
	北島 宣(高知大農学部)	カキ‘富有’の単為結果に関する研究
平成8年	森口卓哉(果樹試興津支場)	モモおよびナシ果実における糖蓄積関連酵素と品種類別に関する研究
	久保康隆(岡山大農学部)	青果物に対する高濃度二酸化炭素の作用性に関する研究
平成9年	荻原 勲(東京農工大農学部)	スイートコーンの雌穂先端部における発育不良粒の発生機構に関する研究
平成10年	田尾龍太郎(京都大学院農学研究科)	カキの組織・細胞培養系の確立に関する研究
	西澤 隆(山形大農学部)	イチゴの休眠及びその期間の光合成産物の動態に関する研究
平成11年	西島隆明(農林水産技術会議事務局)	ダイコンの花成・抽台における内生ジベレリンの役割に関する研究
	高村武二郎(香川大農学部)	倍数性を利用した黄色花シクラメンの育種に関する研究

年度	受賞者	テーマ
平成12年	荒木陽一(野菜・茶業試久留米支場)	施設野菜の水分動態と水管理に関する研究
	市村一雄(野菜・茶業試)	糖類を中心とした花きの老化機構の解明と品質保持技術の開発に関する研究
平成13年	藤岡唯志(和歌山県農林水産総合技術センター農業試験場)	試験管内世代促進および選抜を利用したエンドウの育種法の開発
	村上ゆり子(農林水産省果樹試験場)	果樹における有用遺伝子の発現解析およびその応用展開に関する研究
平成14年	生駒吉識(農林水産省農林水産技術会議事務局)	キウイフルーツの成熟におけるエチレン生成機構の分子生物学的解析
	金山喜則(東北大学大学院農学研究科)	果実の転流糖代謝および糖集積関連酵素の特定と遺伝子発現
	執行正義(山口大学農学部)	単一異種染色体添加系統シリーズを用いたAllium cepaの遺伝子分析
	鉄村琢哉(宮崎大学農学部)	カキの挿し木繁殖法の開発と自根苗の生長評価
平成15年	伊東明子(農研機構果樹研)	落葉果樹の花芽形成制御における生理活性物質の役割に関する研究
	草場新之助(農研機構中国四国農研)	落葉果樹の形態形成制御機構に関する分子生物学的研究
	佐々木英和(農研機構東北農研)	キャベツの耐凍性獲得および消失に関する研究
	白武勝裕(名古屋大学)	液胞への物質集積機構の解明とそれによる果実品質の向上
平成16年	一色司郎(佐賀大学農学部)	ナス属野生種の育種的利用に関する研究
	久松 完(農研機構花き研)	ストックにおける内生ジベレリンの役割解明と開花促進技術の開発
	藤原隆広(農研機構中国四国農研)	セル成型苗を利用したキャベツの省力・斉一化栽培技術の開発に関する研究
平成17年	小野崎 隆(農研機構花き研)	カーネーションの萎凋細菌病抵抗性および花持ち性の育種に関する研究
	島田 武彦(農研機構果樹研)	核果類を中心としたゲノム情報の解析と利用に関する研究
	山下 謙一郎(農研機構野菜茶業研)	野生種の細胞質を利用したネギおよびシャロット雄性不稔系統の育成に関する研究
	吉田 康徳(秋田県立大短大部)	ヤマイモの新芋と花穂の発育制御に関する研究
平成18年	板井 章浩(鳥取大学農学部 園芸学研究室)	ニホンナシ果実の成熟と貯蔵性に関する分子生物学的研究
	久保 達也(鹿児島県島大学 農学部)	カンキツ果実の発育と果実品質に関する研究
平成19年	別府賢治(香川大学農学部)	暖地における甘果オウトウの結実性の問題とその改善
	嬉野健次(岩手大学農学部)	常緑性ツツジと落葉性ツツジの交雑不和合性に関する研究
	佐藤文生(農研機構本部)	炭水化物代謝特性の解明に基づく高品質キャベツセル型苗生産・品質維持技術の開発
	立石 亮(日本大学生物資源科学部)	ナシおよびアボカド果実の軟化に関する細胞壁多糖類分解グルコシダーゼの単離と機能解明
平成20年	岸本早苗(農研機構花き研究所)	キク科植物の花弁におけるカロテノイドの解析に関する研究
	細川宗孝(京都大学大学院農学研究科)	ウイロイド除去のための超微小茎頂分裂組織培養法の開発と利用
平成21年		
平成22年	神埼 真哉(近畿大学農学部 農業生産科学科)	完全甘ガキ個体選抜のための分子マーカーの構築とそれを利用したカキの遺伝様式の解析
	國久 美由紀(農研機構野菜茶業研)	栽培イチゴにおけるゲノム特異的DNAマーカーの開発と品種識別技術への応用
	羽山 裕子(農研機構果樹研)	エチレンによるモモの果肉軟化制御機構の解明
	山田 邦夫(名古屋大学大学院生命農学研究科 生物機構・機能科学専攻)	切り花品質の向上を目指した花弁成長機構の解明
平成23年	加藤 雅也(静岡大学農学部)	カンキツ果実におけるカロテノイド集積機構の解明
	渋谷 健市(農研機構花き研)	花きの老化および形態の制御機構に関する分子生物学的研究
	札埜 高志(京都大学大学院農学研究科附属農場)	スイートピーの良品・安定・多収生産を目的とした花序の発達機構の解析とその制御
平成24年	杉山充啓(農研機構野菜茶業研)	ウリ科野菜におけるウイルス病抵抗性素材の検索と抵抗性素材の特性および遺伝様式に関する研究
	西川美美恵(農研機構果樹研)	カンキツにおける花成制御遺伝子の発現と制御に関する研究
平成25年	八木 雅史(農研機構花き研)	カーネーションのDNAマーカーの開発と育種への利用
	山根 崇嘉(農研機構果樹研)	ブドウ‘安芸クイーン’の着色向上技術に関する研究
	山根 久代(京都大学大学院農学研究科果樹園芸学研究室)	ウメおよびモモの休眠制御機構に関する分子生物学的研究
平成26年	岡田 和馬(農研機構果樹研)	ニホンナシ自家不和合性の分子遺伝学的解明とDNAマーカーの開発
	モハマド ミザナル ラヒム カーン(佐賀大学農学部応用生物科学科)	ナス属野生種の細胞質を用いたナスの細胞質雄性不稔系統の育成